

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育原理	講義	2	藤本明美

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:乳幼児の発達を保障する保育の本質・概念を理解する。

到達目標:

子どもの成長・発達に欠かせないものとは何かを理解し、保育者の専門性を深めるための基礎を習得する。
 保育の意味・内容・方法・形態・制度・歴史的変遷についての基礎的な知識を身につけ、説明することができる。
 子どもの主体性、環境を通じた保育、遊びと深い学びの意味を理解し、観察・、考察する力をつける。
 保護者のニーズを理解し、子育て支援の制度や保育の課題を述べることができる。

【授業の概要】

保育所保育指針、幼稚園教育要領が求める保育をおさえながら、子どもが現在を幸せに生活し、未来を生きる力を育てる保育の原理を理解し、保育の実践を支える専門性の基礎を構築する。
 保育者としての資質について認識し、自覚を深めるために授業の中でグループディスカッションも取り入れる。

【全体の授業計画・内容】	【学習課題事前 30 分・事後30分】	
1. 講義の概要と主趣旨 保育原理とは	シラバスを読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
2. 保育とは何か①「保育」「養護」「教育」の関係	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
3. 保育とは何か②「保育」「遊び」「学び」の関係	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
4. 保育の基盤としての子ども観①子ども観とは	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
5. 保育の基盤としての子ども観②子どもの権利	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
6. 子ども理解から出発する保育	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
7. 子どもが育つ環境の理解	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
8. 保育内容・方法の原理①保育内容とは	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
9. 保育内容・方法の原理②保育方法とは	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
10. 保育の計画と実践の原理	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
11. 保育の歴史	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
12. 保育者に求められるもの	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。

13. 家庭支援と子育て支援	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
14. 保育の現状と課題	テキストの該当部分を読む	授業で学んだことを整理し、自分の言葉でまとめる。
15. まとめ 一斉試験	学んだことを理解し試験に臨む	学んだことを次のステップに活かす。

【学習のあり方】

保育者を志す者としての自覚と責任をもって、日々の生活においても人間関係を構築する努力をすること。講義を基本にグループワークも行う。みんなで学び合を深め合う対話的、主体的な姿勢をもって臨むこと。日頃から保育に関するニュース、新聞記事に関心を持って見聞きし、授業とのつながりを理解するように努めること。また、テキストについては、授業後の事前、事後学習として活用する。

【成績評価】

試験 50%、課題・講義内の提出物 50%により総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

レポート・小テスト・試験等に対して別の用紙にコメントを記入して配布する。

【テキスト】

保育原理(ミネルヴァ書房)

随時プリント配布

【参考文献】

文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館

厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館

内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館

【実務経験の有無】

幼稚園教諭、地域子育て支援・親支援、子育て支援政策計画委員の実務経験を生かし、具体的な事例も取り入れて進める。